

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称		1 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備															
計画の期間		平成23年度 ～ 平成25年度 (3年間)		交付対象	岩倉市												
計画の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水調整池の設置及び既設水路断面の増径等で浸水被害常襲区域の都市浸水の解消を図り、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。</li> <li>・下水道整備における地域再生の途上にあることから、さらなる生活環境の向上のため、良好な水環境整備に努め、質的に充実した「成熟した都市型社会」の形成を目指す。</li> </ul>															
計画の成果目標（定量的指標）		①本計画区域内の過去10年間に浸水被害を受けた延べ556世帯の浸水被害について、被災時と同程度の出水における再度被害を防止する。 ②岩倉市における雨水貯留施設整備進捗率を12.4%(H22年度当初) から20.3%(H25年度末)へ拡大。															
定量的指標の定義及び算定式		①本計画区域内の過去10年間（平成12年度から平成21年度までの間）に浸水被害を受けた世帯のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上・床下浸水で被害を受ける可能性のある延べ世帯数。 ②岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき調整池容量のうち、整備が完了している調整池容量の割合。 雨水貯留施設整備進捗率（%） =（整備が完了した調整池容量（m <sup>3</sup> ） / （岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき調整池容量（m <sup>3</sup> ））			定量的指標の現況値及び目標値			備考									
					当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)										
		556世帯	184世帯	0世帯													
		12.4%	20.3%	20.3%													
全体事業費	合計 (A+B+C)	187百万円	A	185百万円	B	C	2百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.1%								
<b>事後評価</b>																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期												
岩倉市役所内の関連部署による事後評価会議にて実施					関連計画の事業終了後である平成27年度												
					公表の方法												
					岩倉市公式ホームページにて公表												
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25				
A-1	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	雨水	新設	岩倉北小学校地下貯留施設（浸水対策）	貯留量1,370m <sup>3</sup>	岩倉市						98	
A-2	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	雨水	改築	泉地区水路改修（浸水対策）	□1300×□1300 L=229m	岩倉市						87	
小計（下水道事業）												185					
合計												185					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25					
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

C 効果促進事業										事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H23	H24	H25				
C-1	下水道	一般	岩倉市	間接	民間	—	雨水流出抑制施設	雨水貯留槽 41基	岩倉市						2	
合計													2			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1	雨水の流出抑制及び有効利用を図るため、雨水貯留施設等を設置する個人に対し助成する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①岩倉北小学校地下貯留施設の設置、及び、鈴井門前用排水路の改修を行うことにより、当該地区における10年確率降雨(62.96mm/hr)への対策が完了した。</p> <p>②岩倉北小学校に地下貯留施設を設置することにより、岩倉市下水道(雨水)整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき調整池容量のうち、整備が完了している調整池容量の割合(雨水貯留施設整備進捗率(%))が、12.4%から20.3%になり、計画している7施設のうち、岩倉南小学校(H22供用開始)及び岩倉北小学校(H24供用開始)の2施設の整備が完了した。</p>													
II 定量的指標の達成状況	指標①(被害を受ける可能性のある延べ世帯数)	最終目標値	0 世帯	目標値と実績値に差が出た要因	—										
		最終実績値	0 世帯												
	指標②(雨水貯留施設整備進捗率(%))	最終目標値	20.3%	目標値と実績値に差が出た要因	—										
		最終実績値	20.3%												
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因											
		最終実績値													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		—													

## 3. 特記事項(今後の方針等)

- ・事業完了から事後評価時点までに10年確率相当の降雨がなかったため、シミュレーションの結果、従前の被災状況との比較等から評価している。今後も、従前の被災状況との比較を行い、検証を行っていく。
- ・適切な維持管理を行い、貯留施設の貯留量及び水路の流量を確保する。



(参考様式3)

(参考図面)

計画の名称	1 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備	交付対象	岩倉市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成25年度 (3年間)		

C-1 雨水流出抑制施設

